

第8回 北見での思い出づくりの集い

研修医の皆さんをお招きし
お天気にも恵まれ
和やかに交流

2024(令和6)年7月28日(日)、当会が開催窓口となり、「第8回北見での思い出づくりの集い」が野付牛公園で開催。お招きの5名の研修医の皆さんと北見看護大のお二人、総勢23名が爽やかな緑のもとでバーベキューを楽しむ。今回は、2年次の皆さんが北見ICLSコースの受講と重なり、参加は出来なかったが、昨年の集いを思い出して研修に励んでいると想像しています。

「mediate Cardiac Life Support」の略語で蘇生トレーニングコースと云われ、医師や他の医療関係者の必須の研修です。心臓血管系の緊急病状で、特に「突然の心停止に対する最初の10分間の対応」にチームで蘇生する事が目標です。講義はほとんど行わず、実技実習が中心のコースです。

受講者は少人数のグループになり、実際の実習を繰り返して、蘇生のために必要な技術や蘇生現場でのチーム医療を身につける。今回、北見日赤が会場になり、慣れない土地で臨床研修に励む研修医の皆さんに北見市民として感謝の気持ちを伝え、北見での研修が少しでも楽しかったとの印象を人生の一コマに残して欲しい、焼き肉での交流を思い立つ。

集いの始まり

見日赤が会場になり行われた。

「このようなことは北見市民の誰かがやらなければならぬこと、無償で全面的に協力します、詳しくは味覚園栄町支店と打ち合わせをして下さい」と即断して戴いた。またオホーツクビール(株)の当時の渡辺克良専務からも無償で協力するとの言葉を戴いた。そして、この年8月31日(日)、第一回目の集いが始まったのである。

この集いの第一回目に参加した研修医の医師が現在、道立北見病院心臓外科・第一心臓血管外科副部長で地域医療に向きあっている。

会場の食事はアイスクリームとパインの飾り切りへと進み、抽選会が賑やかに行われ、次に参加した研修医の方々と看護大のお二人がそれぞれ思いを一同の前で発表する。

皆さんそれぞれの発表

▽一年次K医師・父が北見日赤にいたので、ここで研修をしている、産科が希望で道東、道北で働きたい、食事が美味しかった有難うござい



北見赤十字病院 藤井事務副部長の音頭で乾杯



お天気に恵まれ、野付牛公園は焼き肉日和

ICLSとは「Life